

(2007年5月号)

目 次

繊維情報

・2007年3月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品)	1
・2007年2月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類)	7
・アジア 中 国 2007年2月の繊維品貿易概況	10
インドネシア 2006年(1-12月)の繊維品貿易概況	14
・米 州 米 国 2007年2月の繊維品輸入、中国が前月に続き大幅増	16

組合関係の会議と催事

・(2007年4月)	19
------------------	----

お知らせ

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」について(輸出)	21
・「モザンビーク」向け他5カ国の保険引受方針変更について(輸出)	22
・「パラオ」向け他1カ国の保険引受方針変更について(輸出)	23
・輸出入組合合同の通常総会及び懇親会の案内(輸出入)	24
・「繊維の基礎知識」研修会(大阪・名古屋地区)開催案内(輸出入)	25
・「貿易実務の基礎」研修会(東京・名古屋・大阪)の開催案内(輸入)	25
・6月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入)	26

組合員情報

・組合員情報(輸出)	26
------------------	----



2007年3月の繊維品輸出概況

・ 繊維品全体の輸出

- 前年同月比 11%増の 7 億 6,563 万ドルと 2 桁の増加を記録 -

2007年3月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比 11%増（前年1-3月比:6%増）の 7 億 6,563 万ドルと、2 桁の増加を記録した。

なお、為替が 2006年3月の 117.31 円に対し、2007年3月は 117.28 円と昨年同月とほぼ同水準の推移となっており、円ベースでも 11%増（同 8%増）の 897 億 9,300 万円となった。

< 主要地域・国別輸出 >

3月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の 72%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けは前月の 2 桁の減少から増勢に転じた。一方、西アジア、欧米の純輸出市場は、為替のフォローの風もあり、このところの好調を継続し、主要地域は軒並み増勢推移となった。

東アジアの主要国向けでは、台湾が微減となった以外は、最大市場の中国を始め、香港、韓国、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシアが揃って増勢で推移し、全体として前年同月比 9%増（同 2%増）の 5 億 6,720 万ドルと前月の 2 桁の大幅な減少から大きく盛り返したのが特筆される。

シェア 5%の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が共に増勢を継続し、全体として 6%増（同 17%増）の 3,513 万ドルとなった。

欧米市場も引き続き揃って好調な推移となっており、シェア 10%の EU は、織物類は伸び悩んでいるが、原料類（綿・糸）アパレルが共に好調に推移し、24%増（同 26%増）の 7,350 万ドルと大幅に増加した。一方、シェア 9%の米国も、原料類（綿・糸）不織布が好調に推移し、20%増（同 16%増）の 6,170 万ドルと前月に続き 2 桁の増加となった。

< 主要品目別輸出 >

これを主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体として、数量で 4%増（同 3%増）、金額で 21%増（同 16%増）と、数量、金額共に増勢推移となった。

太宗の合繊綿は、数量で横ばい（同横ばい）となったが、金額で 16%増（同 13%増）と、単価の上昇より、金額は 2 桁増となった。

この内、主力のアクリル綿は、インドネシア、米国、EU が好調に推移し、最大市場の中国は横ばい。また、イラン、香港、タイが減少したが、数量で 1%増（同横ばい）の微増となった。また、金額では、単価のアップにより、12%増（同 10%増）と 2 桁の増加となった。

一方、ポリエステル綿は、インドネシア、マレーシア、EU は健闘したが、中国、タイ、米国が大幅に後退し、数量で 16%減（同 10%減）、金額で 4%減（同 5%増）と低調な推移となった。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力の EU が大幅に伸び、数量で 43% 増（同 15% 増）金額で 46% 増（同 19% 増）と数量、金額共に大幅な増加となった。

スフ綿は、中国が減少したが、その他東アジア、欧州、米国、南アフリカが大きく伸び、数量で 43% 増（同 27% 増）金額で 50% 増（同 29% 増）と数量、金額共に大幅な増加となった。

糸類の輸出は、数量で 1% 増（同 3% 減）と微増、金額では 12% 増（同 8% 増）と 2 桁の増加となった。

主力の合繊長繊維糸は、数量で 2% 減（同 4% 減）金額で 10% 増（同 10% 増）と数量減の金額増となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、中国、EU が減少、米国も横ばいとなり、数量で 15% 減（同 7% 減）金額で 7% 減（同横ばい）と不振推移となった。一方、ナイロン長繊維糸は、EU が減少したが、タイ、中国、米国が健闘し、数量で 8% 増（同 4% 減）金額で 20% 増（同 12% 増）と数量、金額共に好調に推移した。

その他の合繊長繊維糸では、アクリル長繊維糸は、米国は健闘したが、主力の EU が振るわず、数量で 24% 減（同 27% 減）金額で 3% 減（同 5% 減）と減少した。

また、人絹糸は主力の中国、韓国が健闘し、EU は減少したが、数量で 17% 増（同横ばい）金額で 21% 増（同 7% 増）と数量、金額共に好調な推移となった。

太宗の**織物類**の輸出は、数量で 3% 減（同 6% 減）金額で 2% 増（同 2% 減）と数量微減の金額微増となった。

織物の内訳では、中心品目の**ポリエステル長繊維織物**は、数量で 3% 減（同 9% 減）金額で 6% 増（同 2% 減）と数量減の金額増となった。

地域的には、全体の 68% を占める東アジア向けは、最大市場の中国、ベトナム、タイが好調に推移し、香港、韓国、台湾、シンガポール、スリランカは不振推移となったが、東アジア全体としては 1%（同 7% 減）の微増となった。

一方、純輸出市場向けは、西アジアは、アラブ首長国は健闘したが、サウジアラビアが大幅な減少となり、西アジア全体として 7% 減（同 25% 減）となった。

欧米市場向けは、これまで好調であった EU が 29% 減（同 1% 増）と減少に転じ、米国も 7% 減（同 7% 減）と揃って不振推移となった。

ナイロン織物は、数量で 4% 減（同 12% 減）金額で横ばい（同 4% 減）となった。

シェア 80% の東アジア向けは、ベトナム、韓国は健闘したが、主力の中国、香港が振るわず、全体として 7% 減（同 16% 減）となった。その他では、シェア 8% の米国が 37% 増（同 19% 増）同じくシェア 8% の EU が 120% 増（同 120% 増）と欧米先進国向けは共に先月に続き大幅な増加推移となった。

綿織物は、数量で 10% 減（同 9% 減）金額で 5% 減（同 7% 減）と数量、金額共に不振推移となった。

84% のシェアを占める東アジア向けは、ベトナム、マレーシア、フィリピンは好調に推移したが、最大市場の中国を始め、香港、タイ、韓国、台湾が後退し、東アジア全体として 9% 減（同 11% 減）となった。その他の市場では、シェア 11% の米国は 7% 減（同 14% 増）と、このところの増加推移から減少に転じた。

ポリエステル短繊維織物は、数量で3%増(同2%減)、金額で3%増(同3%増)と数量、金額共に堅調な推移となった。

全体の57%を占める東アジア向けは、ベトナム、シンガポールは増勢で推移したが、最大市場の中国、また、香港が減少し、東アジア全体として3%減(同3%減)となった。一方、シェア41%の民族衣装用の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国は揃って微減推移となったが、クエートが大幅に伸び、西アジア全体として12%増(同2%減)となった。

人絹織物も、数量で14%増(同5%増)、金額で6%増(同横ばい)と数量、金額共に増加推移となった。

シェア71%の東アジアは、中国が後退したが、最大市場の香港、また韓国が大きく伸び、東アジア全体として16%増(同5%増)となった。一方、シェア15%の西アジアは、アラブ首長国が減少したが、サウジアラビアが大きく増加し、全体として4%増(同15%増)となった。また、欧米市場は、米国は14%減(同11%減)、EUは5%減(同2%増)と揃って低調な推移となった。

毛織物は、数量で11%増(同4%増)、金額で12%増(同4%増)と数量、金額共に2桁の増加推移となった。

地域的には、東アジアが95%とほぼ全量を占めている。香港は不振推移となったが、主要国の中国、ベトナムが揃って増加推移となり、東アジア全体として17%増(同4%増)となった。

不織布の輸出は、数量で25%増(同17%増)、金額で19%増(同12%増)と数量、金額共に好調な推移となった。

全体の56%を占める東アジアは、台湾、シンガポールが減少したが、最大市場の中国、また、香港、韓国、ベトナム、タイが大幅に増加し、全体として41%増(同18%増)と大幅に伸びた。

一方、欧米市場は、シェア35%の米国は5%増(同17%増)と堅調に推移したが、シェア6%のEUは11%減(同1%減)と低調な推移となった。

コートッド織物の輸出は、数量で17%増(同20%増)、金額で37%増(同25%増)と数量、金額共に先月に続き好調な推移となった。

全体の81%を占める東アジアは、最大輸出先の中国、香港、ベトナム、タイが伸び、全体として25%増(同22%増)となった。

欧米市場は、シェア7%の米国は52%増(同70%増)と大幅に増加、一方、シェア6%のEUも13%増(同1%減)と好調な推移となった。

ニット生地の輸出は、数量で2%減(同2%減)、金額で11%増(同6%増)と数量微減の金額増となった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、最大市場の中国、また、韓国、インドネシアが増加したが、香港、ベトナム、タイ、台湾が、特に量的に不振推移となった。

一方、欧米市場向けは、米国、EUが揃って数量、金額共に大幅な増加推移となった。

繊維品輸出実績（2007年3月）

単位	2007年3月						2007年1月～3月						2006年実績					
	数量		金額		前年同月比		数量		金額		前年同期比		数量		金額			
	数量	千ドル	数量	千ドル	数量	ドル	数量	百万円	千ドル	数量	百万円	ドル	数量	百万円	千ドル	金額		
繊維品総合計	ドル	44,622	89,793	765,627	111	107,979	228,170	1,913,870	108	106	406,322	942,373	8,102,550					
原料(綿)合計	トン	7,248	14,142	120,581	104	121	34,601	290,343	103	118	406,322	118,992	1,022,832					
スフ綿		7,248	3,044	25,958	143	150	8,074	67,691	127	131	62,898	25,833	222,022					
合繊綿		34,768	10,876	92,734	100	116	25,960	217,901	100	115	313,244	90,882	781,236					
(ポリエステル)		4,144	861	7,342	84	96	10,725	18,888	90	107	46,753	8,787	75,520					
(アクリル)		27,398	8,022	68,397	101	112	18,557	155,815	100	112	238,023	65,808	565,715					
糸 合計	トン	12,271	10,025	85,480	101	112	26,001	218,044	97	110	132,706	103,131	886,798					
人絹糸		1,165	1,032	8,802	117	121	2,957	23,118	100	109	12,210	10,436	89,752					
スフ糸		33	54	460	255	233	90	762	81	111	301	405	3,486					
合繊長糸		10,138	7,977	68,013	98	110	20,832	174,685	96	112	109,458	80,070	688,416					
(ナイロン)		2,404	1,914	16,318	108	120	5,041	42,266	96	114	23,766	18,058	155,289					
(ポリエステル)		3,422	1,744	14,866	85	93	9,230	4,605	93	102	38,017	18,443	158,578					
合繊短糸		269	294	2,508	67	89	669	5,621	80	90	3,783	3,448	29,676					
綿 糸		539	346	2,951	189	142	1,260	7,913	110	109	5,070	3,918	33,663					
繊維物合計	千SM	99,243	31,129	265,427	97	102	80,167	672,340	94	100	1,221,025	366,512	3,151,180					
絹織物		701	1,200	10,231	81	93	1,755	25,063	86	94	7,586	12,682	109,036					
人絹織物		7,248	2,555	21,782	114	106	16,299	6,108	105	102	74,363	26,439	227,232					
スフ織物		975	421	3,593	107	127	2,393	9,073	92	104	9,863	4,484	38,529					
合繊長織物		43,923	10,876	92,735	97	109	110,301	26,632	92	103	582,325	127,729	1,098,929					
(ナイロン)		5,233	1,222	10,418	96	100	12,850	2,901	24,352	88	96	72,490	15,668	134,852				
(ポリエステル)		33,002	7,535	64,246	97	106	81,116	18,359	91	100	447,346	93,225	802,228					
合繊短織物		15,313	3,617	30,839	106	106	42,934	10,121	84,807	99	106	177,576	41,653	358,097				
綿織物		28,248	10,433	88,956	90	95	73,273	27,167	227,819	91	95	315,628	112,854	969,680				
毛織物		2,345	1,636	13,946	111	112	6,657	4,847	40,595	104	106	49,590	37,503	322,469				
不織布	千SM	63,395	6,654	56,733	125	119	169,014	18,946	142,138	117	114	609,944	62,968	541,547				
タイヤコード織物	千SM	1,519	305	2,602	99	108	746	6,264	103	110	17,335	2,872	24,684					
コートニット織物	トン	1,925	5,354	45,652	117	137	4,431	11,710	98,396	120	128	46,353	398,997					
ニット生地	ドル		6,336	54,029	111		18,666	139,741	108	108		73,497	631,885					
アパレル	ドル		4,043	34,474	115		11,247	94,247	109	107		40,656	349,292					
その他	ドル		11,804	100,650	112		30,086	252,358	109	107		127,392	1,095,334					

(注) 1. 繊維品総合計は、HS関税分類11部の合計。
 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。
 3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

アパレルの輸出は、金額で15%増（同7%増）と2桁の増加推移となった。

内容的には、布帛製衣類では、外衣類は、主要国では、米国、EUは減少したものの、台湾、香港、中国、韓国が増加し、金額で10%増（同11%増）となった。また、下着類は、台湾、中国が伸び悩んだが、香港、韓国、EUが健闘し、金額で4%増（同6%増）になった。

ニット製衣類では、外衣類は、香港が横ばい、中国は減少したが、韓国、台湾、EUが健闘し、金額で18%増（同3%増）となった。一方、下着類は、台湾、香港、韓国が健闘し、金額で19%増（同4%増）となった。

その他二次製品は、金額で12%増（同7%増）と好調に推移した。

・原料(綿・糸)の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、ポリエステル綿が減少推移となった他は、スフ綿、ビニロン綿が増勢で推移、また主力のアクリル綿が微増と堅調に推移し、全体では4%増の44,622トンと増加に転じた。金額についても全体的な輸出単価の上昇もあって21%増の12,058万ドルと数量、金額とも増加推移となった。

<糸輸出>

糸は、合繊短繊維糸、主力の合繊長繊維糸が減少推移となったが、人絹糸、綿糸が増勢推移となり、全体では1%微増の12,271トン、金額については12%増の8,548万ドルとなった。

2007年3月の原料(綿・糸)の輸出状況

単位:トン、千ドル、セント、%

	2007年3月				2007年1～3月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	7,248	143	25,958	358	18,931	127	67,691	358
合繊綿	34,768	100	92,734	267	82,069	100	217,901	266
ポリエステル	4,144	84	7,342	177	10,725	90	18,888	176
アクリル	27,398	101	68,397	250	63,321	100	155,815	246
他合繊綿	3,226	121	16,997	527	8,023	110	43,198	538
人絹糸	1,165	117	8,802	756	2,957	100	23,118	782
合繊長糸	10,138	98	68,013	671	26,481	96	174,685	660
ナイロン	2,404	108	16,318	679	6,092	96	42,266	694
ポリエステル	3,422	85	14,866	434	9,230	93	38,608	418
他合長糸	4,310	107	38,629	896	11,158	100	93,810	841
綿糸	539	189	2,951	548	1,260	110	7,913	628

出所:財務省統計

・ 織・編物 (絹・化合織・綿・毛)の輸出

3月の織物(絹・化合織・綿・毛)の輸出は、主力の綿織物は数量、金額共に低調に推移したが、合織短繊維織物、人絹織物、毛織物は好調に推移、またポリエステル長繊維織物も数量微減の金額微増となったことから、織物トータルとしては、数量では、前年同月比3%(前年同期比:6%減)の微減ながら、金額では2%(同2%減)の微増となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地も数量減の金額増となった。また、コーテッド織物は、数量、金額共に2桁増と好調な推移となった。

市場的には、織物トータルでは、主力の東アジアは、主要国では、香港、ベトナム、シンガポール、フィリピン、マレーシアが数量、金額共に前年同月を上回り好調に推移した。一方、中国、韓国、台湾は数量、金額共に前年を下回り、特に中国の低迷は先行きの懸念材料。その他では、タイが数量減の金額横ばい、インドネシアは数量減の金額増となった。

一方、純輸出市場について、西アジアは、アラブ首長国が、数量、金額共に前年を上回り好調を持続している。一方、サウジアラビアは、ポリエステル長繊維織物が不振で、数量、金額共に前年同月を下回った。

また、欧米市場は、EUは主力のポリエステル長繊維織物が低迷推移、米国も綿織物、ポリエステル長繊維織物が共に不振で、揃って数量、金額共に前年を下回った。中国、また、香港、韓国、ベトナム、タイが大幅に増加し、全体として41%増(同18%増)と大幅に伸びた。

一方、欧米市場は、シェア35%の米国は5%増(同17%増)と堅調に推移したが、シェア6%のEUは11%減(同1%減)と低調な推移となった。

各品目の輸出状況

(単位:1,000SM、1,000\$、前年比は数量比%)

	2007年3月			2007年1-3月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	701	10,231	81	1,755	25,063	86
人絹織物	7,248	21,782	114	16,299	51,264	105
スフ織物	975	3,593	107	2,393	9,073	92
合織(長)織物	43,923	92,735	97	110,301	223,481	92
ポリ(長)織物	33,002	64,246	97	81,116	154,061	91
ナイロン織物	5,233	10,418	96	12,850	24,352	88
合織(短)織物	15,313	30,839	106	42,934	84,807	99
ポリ(短)織物	14,141	28,120	103	39,884	78,119	98
綿織物	28,248	88,956	90	73,273	227,819	91
毛織物	2,345	13,946	111	6,657	40,595	104
コーテッド織物	1,925	45,652	117	4,431	98,396	120
ニット生地	16,042	54,029	98	42,077	139,741	98

(注)1. ポリエステル(長) ナイロン(長)織物は、ポリエステル、ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2007年3月の輸出は、金額(ドル)ベース(以下同じ)で、アパレルは、布帛製外衣・下着、ニット製外衣・下着いずれも増加推移となり、全体では前年同月比15%増の34,474千ドルとなった。他方、その他の品目については、敷物及び細幅織物・紐類が増加推移、漁網・その他の網・網地は減少推移となった。

2007年3月の主要繊維二次製品輸出状況

単位:千米ドル、金額:前年比%

	2007年3月		2007年1~3月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	18,913	111	54,616	109
外衣	10,527	110	32,904	111
下着	4,973	104	13,022	106
スカーフ・マフラー	577	95	1,625	88
ニット製衣類・付属品	15,561	121	39,630	105
外衣	4,919	118	13,038	103
下着	7,715	119	19,321	104
敷物	3,580	134	8,040	115
漁網・網・網地	3,024	87	9,731	111
細幅織物・紐類	15,132	110	38,111	95

2007年2月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

2月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比143.8%(前月比は101.5%)、ドルベース同140.8%(前月比は98.8%)、数量(重量)同134.4%(前月比は94.0%)と、円金額が2ヶ月ぶりに増加、ドル金額および数量も2ヶ月ぶりに増加した。前月比は、金額がほぼ横這い、数量(重量)は減少。

糸類は数量で前年同期比8.5%増と8ヶ月続けて増加。内訳は、毛糸、人織(長)糸、人織(短)糸、その他の糸が増加、絹糸、綿糸が減少した。織物類は同17.2%増と2ヶ月ぶりに増加した。綿織物、人織(長)織物、人織(短)織物、メリヤス生地、その他の織物が増加、絹織物、毛織物、黄麻織物が減少した。衣類は同50.4%の大幅増となり2ヶ月ぶりに増加。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同33.2%増で2ヶ月ぶりの増加となった。

前月は前年同期比で円金額が0.9%の微減、ドル金額が2.4%減、数量も4.2%の減少となったが、今月は円金額が43.9%増加、ドル金額も40.8%増、数量も34.4%増加となり、揃って大幅に増加した。これは、中国の春節（旧正月）が昨年は1月下旬だったものが今年は2月の後半だったため、春節休暇前の駆け込み輸入による増加と、気温が高めに推移したため春物輸入が前倒しされたことが重なったものによる大幅増と見られる。なお、2月の為替相場は、前年同月比2.2%円安の120円45銭。ドル金額の内訳を見ると、糸類が12.9%の増加、織物類も12.3%増、太宗を占める衣類も46.2%増、二次製品も31.3%増加し、繊維製品計では40.8%の大幅増となった。

2. うち糸類

- ▶ 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比15.2%、前年同月比も3.3%それぞれ減少となった。これは、綿糸輸入の84%を占める純綿糸が契約時期の市況の落ち込みにより、昨年7月以来となる2万梱台に落ち込んだことによるものである。純綿糸輸入を主要国別に前月に比較すると、2位のインドが5.2%増加となったものの、首位のパキスタンが23.9%、3位のインドネシア26.3%、4位の中国も34.6%の減少となった。番手別に見ると、20番手中心が21.7%減、30番手中心21.8%減、40番手以上も4.6%減と軒並みマイナス。糸種別にみると、カード糸25.6%、コーマ糸16.2%それぞれ減少。なお、混紡綿糸は28.5%の増加となっている。
- ▶ 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース29.2%増と10ヶ月連続の増加となり、この9ヶ月間は20%を超える大幅増が続いている。糸種別に見ると、紡毛糸が同109.3%増と14ヶ月連続で増加、太宗を占める梳毛糸も同21.5%増となった。国別では、トップシェアの中国が同59.0%増と11ヶ月連続で増加、第2位のマレーシアも同7.6%増加。この他の主要国では、インドが増加、台湾、タイ、イタリアからの輸入は減少。
- ▶ 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比13.3%減となったものの、前年同月比は14.1%の増加となり6ヵ月連続プラスとなった。主要商品を前月に比べると、主力のポリエステル糸の9.7%減をはじめナイロン糸15.0%、量的に少ない人絹糸も31.8%減となる等軒並みマイナス。一方、人織(短)糸も主力のT/C, T/Rのポリエステル紡績糸が12.8%、スフ糸も16.9%、最近落ち込みの大きいアクリル紡績糸は20.9%のマイナスとなり、全体で見ると前月比は15.6%減で、前年同月比は13.9%増加となった。

3. うち織物類

- ▶ 綿織物の輸入実績は、中国の旧正月の影響もあり面積ベースで前月比17.2%の大幅減少となったが、前年同月比は8.1%の増加となり7ヵ月ぶりのプラスとなった。国別に前月と比べると、太宗を占める中国が15.8%減、次いで多いインドネシアも4.6%、パキスタン23.5%の

軒並みマイナスとなった。品目別にみると、前月落ち込みの大きかった金巾がその反動もあり 35.2%の大きな増加となったもののポプリン、粗布・細布、綾織は減少した。

- 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比 11.9%減少し、5ヶ月続けて減少となった。中国からの輸入が同 4.8%減と 5ヶ月連続で減少、イタリアからの輸入も 16.8%減となった。また、第3位のイギリスは同 42.3%減で3ヶ月ぶりに減少。品種別では、紡毛織物が同 33.9%減と2ヶ月ぶりに減少、主力の梳毛織物も同 11.0%減と5ヶ月続けて減少した。
- 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比5ヶ月ぶりマイナスの7.3%減となったものの、前年同月比は4ヶ月連続プラスの39.2%の大幅増加となった。品目別に前月に比較すると、主力商品のポリエステル織物が先月までの4ヶ月連続増の調整もあり微減となったのをはじめ、ナイロン織物 37.0%、ポリプロピレン等其他織物も 14.4%マイナスとなった。一方、人織(短)織物は主力商品のT/C,T/Rのポリエステル織物が13.8%、スフ織物も2.9%の減少となったことにより、全体では8.7%減となったものの、前年同月比は42.2%の大幅増加となった。

4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で50.9%増、布帛製衣類も同58.8%増、身の廻り品も重量ベース33.7%増となり、衣類計で重量ベース50.4%増加となった。ニット製衣類が2ヶ月ぶりに増加し、布帛製衣類、身の廻り品もともに5ヶ月ぶりに減少した前月から増加に転じ、衣類計も2ヶ月ぶりに増加した。

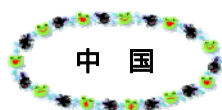
主要国別に見ると

- 中国は対前年同月比(枚数)でニット製衣類が59.8%増加し2ヶ月ぶりに増加、布帛製衣類も68.6%増で2ヶ月ぶりに増加、身の廻り品も重量ベース41.4%増で2ヶ月ぶりの増加となった。今年1~2月の衣類計(重量)のシェアは90.8%で前月から0.3ポイント減(金額ベースでのシェアは81.6%)
- 韓国はニット製衣類が同2.8%減少、布帛製衣類も同45.1%の大幅減となり、ニット製衣類、布帛製衣類ともに10ヶ月連続で減少した。
- イタリアはニット製衣類が同4.3%減と2ヶ月ぶりに減少、布帛製衣類も同7.0%減となり4ヶ月続けて減少した。
- ベトナムはニット製衣類が同16.3%増と3ヶ月連続で増加、布帛製衣類も同58.4%増となり8ヶ月続けて増加した。

▶商品別には、ニット製衣類ではコート、アンサンブル、ジャケット、ズボン、ドレス、スカート、アウターシャツ、セーター、スポーツウェア、下着類が増加、スーツが減少となった。中でも、ドレスは対前年同月比（枚数）で3倍超の359.6%と引き続き大幅増。布帛製外衣類では紳士用が同56.5%増、婦人用も同66.4%増加した。紳士用では、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、ズボン、下着類の全アイテムで増加、婦人用は、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、ドレス、スカート、ズボン、ブラウス、下着類が増加し、紳士と同じく全アイテムが増加した。

前月は数量が対前年同月比4.2%減少、金額も円ベースで0.9%、ドルでも2.4%減少となったが、今月は数量が34.4%増加、金額も円ベースで43.8%、ドルでも40.8%増加となり、前月から一転し数量、金額とも大幅な増加となった。これは前述のとおり、中国の春節（旧正月）前の駆け込み輸入で増加したことが主な要因。ちなみに、1～2月の累計では、数量が11.3%増加、金額も円ベースで17.5%、ドルも15.2%の増加。

2月の国内消費市況は「暖冬の影響から春物商材が前倒しで投入されていたが、中旬以降の天候不順（花冷え）により動きが鈍化したことがマイナス要因」（日本百貨店協会）となった。2月の輸入は大幅増となったものの、中国の春節前の駆け込み輸入の反動で、来月は減少が予想される。



中国、2007年2月の繊維品貿易概況

- 輸出は41%増の226億1,677万ドルと急増 -

2007年1-2月の中国の繊維品輸出は、前年同期比41%増の226億1,677万ドルと急増している。本年1月の伸びは20%増であったが、2月は74%増と飛躍的に伸びた。一部品目に規制枠が再設定されている米国、EU向けが衣料品を中心に大きく伸びたのが大きな要因。

< 地域別・国別輸出状況 >

地域別では東アジアがシェア35%（前年同月比20%増）、ヨーロッパが同28%（同58%増）、北米が同18%（同63%増）、西アジアが同6%（同36%増）、中米が同3%（同46%増）、南米が同3%（同62%増）、アフリカが同5%（同63%増）、大洋州が同3%（同34%増）の市場構成となっており、各地域共に軒並み大幅な増加推移となっている。

昨年は枠再設定による当初の混乱もあり大きく伸び率が鈍化した北米、EUが今年は大幅に伸び率を伸ばしており、また、他地域もそろって高い伸びを記録しているのが注目される。

国別では、1位EU（54億6,928万ドル：53%増）、続いて米国（34億5,630万ドル：63%増）、日本（29億204万ドル：20%増）、香港（24億749万ドル：17%増）、韓国（7億7,992万ドル：

19%増) ロシア(6億4,530万ドル:31%増) カナダ(5億8,817万ドル:65%増) オーストラリア(4億9,700万ドル:34%増) アラブ首長国(4億8,172万ドル:54%増) トルコ(3億8,353万ドル:208%増) シンガポール(2億6,777万ドル:4%増) 南アフリカ(2億5,453万ドル:44%増)の順となっている。

枠が設定されている米国、EU、トルコ向けの伸びが高いのが目立っているが、これは、昨年は、枠が再設定された当初の取り引きの混乱もあり、当該国向け輸出が大きく減速したことによるものである。

< 品目別輸出状況 >

品目別では、中国の繊維品輸出全体の65%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出は、48%増の146億5,128万ドルと全体の繊維品輸出の伸びを上回り、中国の繊維品輸出を主導、牽引している。これは、米国、EU向けの伸びが、枠の設定にも拘らず、今年1-2月は昨年に比べ大幅に増加していることが大きな要因となっている。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が53%増の67億6,398万ドル、布帛製衣料品及び同付属品の輸出は44%増の78億8,730万ドルと共に高い伸びを記録している。

衣料品の主要輸出先は、ニット製衣料品は、トップ市場はEU(12億4,753万ドル:74%増) 続いて日本(11億169万ドル:23%増) 米国(9億5,845万ドル:99%増) 香港(6億9,965万ドル:26%増) カナダ(2億4,562万ドル:112%増) オーストラリア(2億3,095万:38%増) ロシア(2億2,648万ドル:14%増) 韓国(2億840万ドル:21%増) アラブ首長国(1億3,758万ドル:73%増)の順となっており、昨年は低位の伸びに止まった、米国、EUが再び大幅な増加となり、またその他諸国向けも総じて高い伸びを記録している。

布帛製衣料品の輸出先は1位がEU(20億5,594万ドル:57%増) 以下、米国(15億3,572万ドル:76%増) 日本(13億2,356万ドル:21%増) 香港(6億6,945万ドル:23%増) 韓国(2億6,715万ドル:24%増) カナダ(2億4,697万ドル:55%増) ロシア(2億2,181万ドル:25%増) オーストラリア(1億6,485万ドル:35%増) パナマ(1億2,710万ドル:68%増)の順で、ここでも、米国、EUの増勢、またその他諸国向けも高い伸びが目立っている。

衣料品以外の素材輸出も、衣料品ほどの高い伸びでは無いが、原料類(綿・糸) 織物類共に健闘している。

まず織物類の輸出は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物及び合繊短繊維織物が揃って数量、金額共に好調に推移しており、全体として、数量で16%増の27億5,090万メートル、金額で24%増の27億1,867万ドルとなった。

糸類の輸出も、各品目共に好調で、合繊長繊維糸、中でも特にポリエステル長繊維糸の増加が著しく、また太宗の綿糸、合繊短繊維糸も大幅に増加しており、全体として数量で34%増の28万497トン、金額で29%増の9億61万ドルと、数量、金額共に大幅な増加推移となった。

綿類の輸出も、天然繊維、ポリエステル綿を中心とする合繊綿、またスフ綿の輸出が共に増勢で推移し、数量で34%増の9万816トン、金額で39%増の2億7,547万ドルと、規模は未だ小さいが、高い伸びを記録した。

2007年2月の中国の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	出					入				
	2006年実績		2007年1月～2月		前年比	2006年実績		2007年1月～2月		前年比
	数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額	
繊維品合計					141					92
原料(綿)合計	TON	511,410	1,417,518	90,816	22,616,771	134	275,473	514,741	3,160,276	59
スフ綿	TON	63,500	101,783	14,445	25,930	249	25,930	14,406	42,510	90
合繊綿	TON	337,046	430,089	56,312	75,397	120	75,397	80,457	152,870	84
(ポリエステル)	TON	293,652	318,907	47,800	52,844	118	52,844	35,914	50,092	82
(アクリル)	TON	2,505	6,325	692	1,643	288	1,643	40,680	87,305	84
糸合計	TON	1,775,816	6,172,372	280,497	900,608	134	900,608	235,855	573,184	98
人絹糸	TON	93,262	341,971	16,110	63,142	138	63,142	2,947	9,890	79
スフ糸	TON	40,827	161,167	6,859	22,606	199	22,606	3,081	11,471	107
合繊長繊維系	TON	568,293	1,323,400	108,824	259,575	147	259,575	80,484	215,988	93
(ナイロン)	TON	96,873	336,401	14,394	51,716	105	51,716	33,201	97,637	78
(ポリエステル)	TON	400,171	666,310	76,581	130,288	147	130,288	38,074	69,327	104
合繊短繊維系	TON	396,541	1,146,321	62,034	172,296	140	172,296	352,440	39,808	103
綿糸	TON	577,278	1,827,260	75,108	233,697	116	233,697	131,414	281,120	100
繊維品合計	千LM	18,287,237	17,490,810	2,750,899	2,718,667	116	2,718,667	544,836	776,409	103
絹織物	千LM	244,506	786,655	33,658	109,859	93	109,859	107,364	13,347	109
人絹織物	千LM	41,923	35,213	7,637	6,830	123	6,830	9,728	17,643	140
スフ織物	千LM	958,964	710,912	142,204	110,178	111	110,178	5,386	12,198	96
合繊長繊維織物	千LM	6,471,201	4,894,432	963,803	759,221	117	759,221	231,405	243,165	102
(ナイロン)	千LM	274,342	160,404	22,865	14,604	68	14,604	62,950	63,444	100
(ポリエステル)	千LM	5,434,797	4,056,255	833,931	645,962	122	645,962	111,096	118,767	94
合繊短繊維織物	千LM	3,915,004	2,979,684	598,969	483,126	121	483,126	71,405	101,740	95
綿織物	千LM	6,273,325	7,020,604	934,930	1,076,965	116	1,076,965	195,855	307,393	107
毛織物	千LM	101,923	560,733	12,529	65,905	112	65,905	5,888	47,750	106
不織布	TON	188,523	443,284	31,420	77,163	118	77,163	21,097	86,646	105
タイヤコード織物	TON	78,078	250,266	12,908	42,350	114	42,350	2,520	10,318	89
コーテッド織物	TON	576,139	1,428,708	97,357	246,404	136	246,404	30,941	138,425	96
ニット生地	TON	1,122,628	4,640,538	565,696	675,448	501	675,448	223,436	286,950	405
ニット製衣料			44,902,907		6,763,975	153	6,763,975		93,795	116
布帛製衣料			43,709,665		7,887,303	144	7,887,303		129,681	106
その他			17,621,788		3,029,378	133	3,029,378		228,268	105

出所：中国海関統計

- 輸入は8%減の31億6,028万ドルと低調推移 -

一方繊維品輸入は、綿類の輸入が、綿花輸入の急減もあり大幅に減少、糸類は横ばい、織物類の輸入は増加推移となり、全体として8%減の31億6,028万ドルに止まっている。

この結果、中国の2007年1-2月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同期比55%増の194億5,650万ドルとなっている。

<地域別、国別輸入状況>

地域別では東アジアがシェア75%（前年同期比：4%増）を占め、西アジアが同2%（同48%減）、ヨーロッパが同8%（同23%増）、北米が同5%（同54%減）、中米が同0.2%（同67%減）、南米が同1%（同68%減）、アフリカが同2%（同57%減）、大洋州が同6%（同5%増）の市場構成となっており、東アジア、ヨーロッパからの輸入は増加しているが、北米からの減少が目立っている。

国別では、1位日本（4億7,498万ドル：5%減）、続いて台湾（4億4,700万ドル：1%減）、韓国（3億5,333万ドル：1%増）、EU（3億1,793万ドル：23%増）、香港（2億1,006万ドル：2%増）、インド（1億8,481万ドル：20%増）、オーストラリア（1億7,421万ドル：7%増）、米国（1億6,454万ドル：54%減）、パキスタン（1億204万ドル：5%減）、ウズベキスタン（6,634万ドル：48%減）の順となっている。米国の急減は、綿花の輸入減が最大の要因である。

<品目別輸入状況>

品目別輸入を見ると、綿関係では、天然繊維の輸入は米国よりの綿花の輸入が大きく減少し、また、合繊綿の輸入も低調で、数量で41%減の51万4,741トン、金額で33%減の8億3,660万ドルと大幅な減少となった。

糸関係は、合繊短繊維系は増勢推移にあるが、太宗の綿糸が横ばい、合繊長繊維系はポリエステル長繊維系は増加しているが、ナイロン長繊維系が低調で、全体として数量で2%減の23万5,855トン、金額で横ばいの5億7,318万ドルとなった。

一方織物類は、太宗の綿織物が増加推移、合繊長繊維織物も微増推移となっており、トータルでは、数量で3%増の5億4,484万メートル、金額で7%増の7億7,641万ドルと数量、金額共に増加推移となった。

その他品目では、ニット生地が金額で18%増の2億8,695万ドル、コーテッド織物が3%増の1億3,843万ドルと増勢で推移している。

また衣料品は、額は小さいが、ニット製衣料品が16%増の9,380万ドル、布帛製衣料品が6%増の1億2,968万ドルと何れも着実に増加している。



インドネシアの2006年(1-12月)の繊維品輸出概況

- 前年比10%増の94億4,629万ドルと好調に推移 -

インドネシアの繊維産業は、人件費、燃料費の高騰など諸経費のコストアップ、設備の老朽化、中国品の密輸入の急増等により、特に国内向けの市況悪化が懸念されているが、2006年1-12月の繊維品輸出は、2005年からの欧米枠の撤廃、また競合国の中国に枠が再設定されたこともあり、欧米向を中心に好調に推移し、前年比10%増の94億4,629万ドル2桁の増加となった。

主要地域・国別輸出状況

地域別輸出をみると、シェア40%の北米は24%増、同23%の欧州は12%増、同22%の東アジアが2%減、同5%の西アジアは10%減となっており、主要地域では、東アジア及び西アジアは減少したが、特に枠が撤廃された欧米向けの好調が目立っている。

主要輸出国別では、1位が米国で以下、EU、日本、アラブ首長国、トルコ、韓国、ブラジル、マレーシア、シンガポール、中国、香港、カナダの順となっているが、米国、EUで全体の58%を占め、何れも2桁の高い伸びを記録した。米国、EU以外では、トルコ、ブラジル、カナダが大幅に増加、一方、東アジアのマレーシア、シンガポール、香港また中東のアラブ首長国、サウジアラビアは減少推移となっている。なお日本向けは微増となった。

インドネシアの主要国への2006年1-12月の繊維品輸出状況

(単位:1,000ドル)

	2005年(1-12月)	前年同期比(%)	2006年(1-12月)	前年同期比(%)
全世界	8,604,098	113	9,446,288	110
米 国	2,930,266	124	3,624,863	124
E U	1,698,773	100	1,881,581	111
日 本	474,595	101	494,070	104
アラブ首長国	310,777	115	275,215	89
トルコ	213,234	154	261,008	122
韓 国	226,963	113	239,200	105
ブラジル	155,743	120	231,047	148
マレーシア	194,634	101	180,960	93
シンガポール	182,274	121	163,398	90
中 国	137,508	87	154,530	112
香 港	190,278	104	147,751	78
カナダ	117,775	109	138,211	117
サウジアラビア	144,557	125	125,855	87

品目別輸出動向

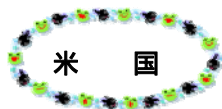
品目別輸出を見ると、最大輸出品目は衣料品で、全繊維品輸出額の 59%を占めているが、このうち、ニット製衣料品の輸出は 18%増の 21 億 5,924 万ドル、太宗の布帛製衣料品は 10%増の 33 億 7,467 万ドルで、いずれも欧米向けを中心に 2 桁の高い伸びを示し、インドネシアの繊維品輸出を牽引した。

織物類の輸出は伸び悩んでおり、全体で 3%減の 12 億 1,734 万ドルとなった。

品種別では、主要織物では、合繊長繊維織物が 1%減の 4 億 8,834 万ドル、綿織物は 3%減の 3 億 9,799 万ドル、合繊短繊維織物は 15%減の 2 億 3,524 万ドルとなった。

一方、原料関係の輸出は好調で、綿類は、スフ綿、合繊綿が共に大きく伸び、全体で 17%増の 2 億 8,621 万ドルとなった。

また糸類の輸出は、合繊長繊維糸、合繊短繊維糸、綿糸が共に増勢で推移し、糸全体としては 10%増の 17 億 9,125 万ドルとなった。



2007年2月の繊維品輸入、中国が前月に続き大幅増

2007年2月の米繊維品輸入は、最大供給国の中国からの輸入が33%増と大增勢で推移、全体でも6%増(1~2月、4%増)と、3カ月連続の増加となった。

米国の繊維品輸入推移

単位:100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	0.7	16,103	0.4	32,812	0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,827	6.8	22,010	10.3	50,836	8.3
2006年	29,607	2.7	22,539	2.4	52,146	2.6
1月	2,504	10.9	1,698	3.2	4,201	7.6
2月	2,153	2.5	1,587	9.8	3,740	5.7
3月	2,362	0.9	1,687	2.4	4,049	0.5
4月	2,515	7.5	1,493	3.6	4,008	3.1
5月	2,706	6.2	1,669	2.1	4,375	2.9
6月	2,682	7.9	2,071	0.3	4,753	4.4
7月	2,520	7.1	2,032	2.0	4,551	4.8
8月	2,654	2.4	2,316	7.3	4,971	4.6
9月	2,435	2.1	2,324	9.2	4,759	3.1
10月	2,562	0.1	2,155	12.5	4,716	5.2
11月	2,353	2.7	1,824	3.1	4,177	0.3
12月	2,164	3.3	1,686	5.8	3,849	0.5
2007年	4,624	0.7	3,642	10.9	8,265	4.1
1月	2,373	5.2	1,919	13.0	4,292	2.2
2月	2,250	4.5	1,723	8.6	3,973	6.2

注:前年比は増減、 は減少。 出所:米国商務省(DOC)

【2月の輸入】

米国商務省が発表した2007年2月の米繊維品輸入は、39億7,261万SME(平方メートル換算)で前年同月比6.2%増と、3カ月連続の増加となった。

2月の輸入のうち、ノン・アパレル(糸、織物、その他繊維製品)が4.5%増、アパレルが8.6%増といずれも増加推移となった。

2月の輸入増は、主として最大供給国の中国からの大幅な輸入増によるものである。

中国からの輸入は、15億1,384万SMEで32.7%増となった。このうち、ノン・アパレルが22.4%増、アパレルが56.8%増といずれも増勢で推移した。アパレルの品種別では、綿アパレルが82.1%増、毛アパレルが55.4%増、化合織アパレルが52.3%増と、夫々突出した伸びとなっている。

【1～2月の輸入】

2007年1～2月の米繊維品輸入は、82億6,543万SME（平方メートル換算）で前年同期比4.1%の増加となり、前年同期の0.9%増から大きく伸びた。この1～2月の輸入のうち、ノン・アパレルは0.7%の減少となったが、アパレルは10.9%の増加となった。

1～2月の主要地域別輸入状況は、以下の通り。

- ビッグ4（中国、韓国、台湾、香港）が中国を中心に大幅な増加となったが、アセアン、NAFTA（北米自由貿易協定）パートナー（メキシコ、カナダ）及びカリブ海沿岸諸国（CBI）は低調な推移となった。その他地域の中では、バングラデシュ、インドは順調に推移したが、パキスタンは不振推移となった。
- ビッグ4からの輸入は22.0%増と好調に推移、特に最大供給先の中国がアパレル、その他繊維製品を中心に27.6%増と突出した伸びとなっている。因みに、中国からの輸入は全体の39%を占め、米繊維品輸入市場を席捲している。
一方、香港はアパレルが不振推移となり38.8%減と低迷している。韓国、台湾は糸、織物を中心に夫々4.4%、8.9%の増加となった。
- アセアンからの輸入はアパレルが中心で、全体の77%を占めている。そのアセアンからは、主力のインドネシアが2.1%増、ベトナム16.1%増と順調に推移したが、タイが17.4%減、フィリピン10.6%減、カンボジア3.6%減といずれも低調な推移となり、アセアン全体では2.9%の減少となった。
- NAFTAパートナーからの輸入はこのところ低迷が続いており、アパレル中心のメキシコが11.6%減、糸と織物主体のカナダは23.1%減と、両国合わせて16.8%の大幅な減少となった。
- CBIからの輸入は、コスタリカ、ニカラグア、ハイチは順調に推移したが、主要国のホンジュラス、エルサルバドル、ドミニカ共和国がいずれも不振推移となり、全体で1.3%の減少となった。なお、CBIからの輸入はアパレルが97%と殆どを占めている。
- EU（15カ国）からの輸入は、ポルトガルが25.9%増、ギリシャ22.0%増、フィンランド116.3%増と増勢で推移。一方、主要国のイタリアは織物が増加となったが、糸、アパレルが低調推移となり11.1%減、ドイツは糸、織物の不振で30.2%の減少となり、全体で9.8%減となった。
- 「その他地域」からの輸入では、インドがその他繊維製品を中心に5.9%増、バングラデシュはアパレルを主体に9.2%増と、共に順調に推移した。一方、主要供給国のパキスタンは糸、織物の不振で13.3%の減少となった。また、トルコについてもアパレル、その他繊維製品が振るわず13.1%減と低迷している。

米国の繊維品輸入推移(主要地域・国別)

単位:100万SME、%

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年 1-2月	前年 同期比
全世界	38,288	42,227	46,936	50,836	52,146	8,265	4.1
NAFTA	7,722	7,238	7,373	6,892	5,864	821	16.8
メキシコ	4,335	3,926	4,101	3,883	3,425	477	11.6
カナダ	3,387	3,312	3,272	3,009	2,439	343	23.1
CBI	3,830	4,046	4,168	4,169	3,796	539	1.3
ホンジュラス	1,099	1,165	1,209	1,262	1,144	165	1.1
エルサルバドル	817	895	895	897	744	113	1.9
ドミニカ共和国	743	758	772	725	588	64	20.8
ビッグ4	9,348	12,633	16,128	20,595	22,535	3,813	22.0
中国	4,963	8,288	11,662	16,763	18,611	3,226	27.6
韓国	2,032	2,097	2,301	2,027	2,139	344	4.4
台湾	1,391	1,356	1,302	1,083	1,172	180	8.9
香港	962	892	862	721	613	63	38.8
アセアン	4,766	4,980	5,140	5,145	5,754	915	2.9
タイ	1,316	1,098	1,114	1,052	1,019	151	17.4
インドネシア	1,215	1,151	1,275	1,354	1,599	265	2.1
フィリピン	817	794	711	643	694	96	10.6
ベトナム	358	827	905	950	1,148	204	16.1
カンボジア	474	561	673	740	870	144	3.6
EU	2,055	2,059	2,063	1,912	1,698	273	9.8
イタリア	518	533	462	385	325	52	11.1
ドイツ	551	484	479	453	383	73	30.2
その他	10,567	11,272	12,064	12,123	12,499	1,904	6.6
パキスタン	2,537	2,690	2,970	3,290	3,566	493	13.3
インド	1,545	1,666	1,915	2,334	2,654	461	5.9
バングラデシュ	1,150	1,110	1,109	1,314	1,495	254	9.2
トルコ	1,068	1,026	982	844	725	97	13.1

組合関係の会議と催事

〔2007年4月〕

3日(火)

輸入(大阪)中国国際技術智力合作公司日本支社・張支社長と事務局にて組合セミナー等に関する協力事業について打合せを行った。

4日(水)

輸出入(東京)「日本繊維産業連盟とタイ/クラークライ商務大臣及び同国繊維業界代表との懇談会」が開催され、輸出入組合を代表して大塚副理事長が出席され、懇談された。
「日本繊維産業連盟とインド/シャンカル・シン・ヴァゲラ繊維大臣との懇談会」が開催され、輸出入組合を代表して小村常務理事が出席した。

9日(月)

輸入(大阪)日本黄麻製品輸入協議会「第122回運営委員会」(塩田委員長)が開催され、委員長交替 2006及び2007年度予決算 2007年度事業計画 総会開催日 会計監査日程について説明と審議が行われた。

10日(火)

輸入(大阪)インドネシア貿易促進センター・シモンゼロテス所長ほか来所され懇談した。

11日(水)

輸入(東京)「第6回組合運営に関するタスクフォース」(神谷議長)が開催され、EPA交渉を巡る最近の状況 中期収支見通し及び賦課金率 商品別・機能別委員会組織見直しについて説明と審議が行われた。

輸出(大阪)「あずさ監査法人」による2006年度会計監査が12日まで行われた。

12日(木)

輸入(東京)アパレル委員会・長田副委員長と事務局はクロアチア大使館を訪問し、本年度アパレル委員会ミッションの派遣に関して協力依頼した。
杭州富強工場・陳董事長が川村絹委員長を訪問し、懇談した。

16日(月)

輸出入(東京)経済産業省において「産構審繊維産業分科会第4回基本政策小委員会」が開催され、輸出入組合を代表して塘企画委員長が出席された。

輸入(東京)高橋公認会計士による2006年度会計監査が行われた。

19日(木)

輸入(東京)「平成18年度監事会」が開催され、守谷監事、能島監事ほか出席され、監査が行われた。

(大阪)(財)日本化学繊維検査協会・酒井常務理事、深水総務課長が来所され、セミナー

等について打合わせを行った。

輸出入(東京)「織産連知財保護推進委員会」が開催された。

20日(金)

輸入(東京)経済産業省会議室において CCMI(カシミア・キャメルヘア工業会)と繊維関係団体との意見交換会が開催され、事務局が出席した。

23日(月)

輸出(大阪)「平成18年度監事会」が開催され、豊島監事、中島監事、栗毛野監事が出席、会計監査が行われた。

25日(水)

輸出(大阪)平成19年度第1回企画委員会が開催され、平成18年度事業報告書、決算報告書、及び平成19年度事業計画、収支予算等について検討された。

26日(木)

輸入(東京)貿易制度専門委員会「第12回関税評価対策G」(神谷G長)が開催され、東京税関担当官を講師に「簡易申告税度の改正」の説明 各社の事後調査結果 博多港からのアンケートについて説明と意見交換が行われた。

27日(金)

輸入(東京)「アパレル委員会・正副委員長会議」が開催され、本年度の同委員会派遣ミッション(スイス、クロアチア)についての検討を行った。



繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と 「保険期間延長手続き」について

別表に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成 19 年 6 月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。

保険責任期間が「6 ヶ月」延長されます。

記

- * 平成 18 年 12 月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成 18 年 6 月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの
(注) 当初の保険責任期間は「前受け」6 ヶ月、「前受け以外」12 ヶ月
となっております。

1. 提出期限：平成 19 年 6 月 20 日（水）
2. 提出書類： 貿易一般保険包括保険(繊維品)
保険期間延長依頼書 2 通
(用紙は事務局で準備しています。)
延長を必要とする包括保険申込書のコピー 1 通
3. 提出先：総務部(☎06-6201-1832)

なお、延長手続きの FAX による申込みも可能です。(FAX : 06-6201-1814)

保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る 2006 年 12 月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
JT - 06	106865 ~ 107589	103208 ~ 103633	100273 ~ 100290
	512220 ~ 513338		

前受け以外に係る2006年6月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
JT - 06	102934 ~ 103583	101326 ~ 101824	100116 ~ 100151
	505623 ~ 506930		

「モザンビーク」向け他5カ国の保険引受方針変更について

このたび独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から、OECD・CRE 会合の結果を踏まえ、“「モザンビーク」（国コード：545）向け他5カ国の繊維包括保険の引受方針及び国倍率を平成19年4月9日付けで変更する。”旨連絡がありましたのでご通知します。

この結果、下記の取扱いとなります。

記

1. 条件付引受国から通常国に緩和

<u>国コード</u>	<u>国名</u>	<u>国倍率</u>
110	ベトナム	3.8倍（旧4.5倍）

2. 通常国から条件付引受国に変更

<u>国コード</u>	<u>国名</u>	<u>国倍率</u>	<u>引受限度額</u>	<u>ILC取得条件</u>
556	スワジランド	6.0倍（旧3.8倍）	10億円	無し

3. 国倍率及び引受条件（条件付引受国3カ国）

<u>国コード</u>	<u>国名</u>	<u>国倍率</u>	<u>引受限度額</u>	<u>ILC取得条件</u>
545	モザンビーク	6.0倍（旧8.0倍）	20億円（旧5億円）	有り（据置）
554	ザンビア	6.0倍（旧8.0倍）	20億円（旧5億円）	有り（据置）
120	カンボジア	8.0倍（旧6.0倍）	5億円（旧10億円）	有り（旧無し）

4. 国倍率（通常国）

<u>国コード</u>	<u>国名</u>	<u>国倍率</u>
108	香港	1.0倍（旧2.0倍）

* 国倍率（地域差料率）とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

5.実施日： 平成19年4月9日

「パラオ」向け他1カ国の保険引受方針変更について

このたび独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から、各国の政治経済情勢等を勘案し、見直しを行った結果、“「パラオ」（国コード：628）向け他1カ国の繊維包括保険の引受方針及び国倍率を平成19年5月10日付けで変更する。”旨連絡がありましたのでご通知します。

この結果、下記の取扱いとなります。

記

1. 通常国から条件付引受国に変更

国コード	国名	国倍率	引受限度額	ILC取得条件
628	パラオ	4.5倍（旧3.8倍）	無し	無し

2. 国倍率及び引受条件（条件付引受国）

国コード	国名	国倍率	引受限度額	ILC取得条件
614	トンガ	6.0倍（旧4.5倍）	10億円	無し

* 国倍率（地域差料率）とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

3.実施日： 平成19年5月10日



輸出入組合合同の通常総会及び懇親会の案内

日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合は、本年5月30日（水曜日）、大阪の輸出繊維会館・中地下（BM）会議室にて、以下の通り事業報告・計画及び決算・予算等に関する合同の通常総会及び懇親会を開催しますので、ご出席下さいますようお願い致します。

なお、ご出欠につきましては、5月1日付けご案内書添付の葉書（組合委員各位）又は出欠連絡票（役員・委員各）にて各組合宛にご連絡願います。

・日本繊維輸出組合 第8回通常総会

1. 開催日時 平成19年5月30日（水曜日）午後3時30分～4時20分
2. 開催場所 大阪 輸出繊維会館・中地下（BM）会議室
3. 議 題
 - 第1号議案 平成18年度事業報告書及び収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、各案承認に関する件
 - 第2号議案 平成19年度事業計画書並びに収支予算書案承認に関する件
 - 第3号議案 平成19年度における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案の承認に関する件
 - 第4号議案 役員一部改選に関する件

・日本繊維輸入組合 第44回通常総会

1. 開催日時 同 上 午後4時30分～5時20分
2. 開催場所 同 上
3. 議 題
 - 第1号議案 2006年度（平成18年度）第44期事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、各案承認に関する件
 - 第2号議案 2007年度（平成19年度）第45期事業計画及び収支予算書案承認に関する件
 - 第3号議案 賦課金（案）について
 - 第4号議案 理事一部改選の件
 - 第5号議案 定款一部変更の件
 - 第6号議案 部会及び委員会に関する規約一部変更の件
 - 第7号議案 その他

・日本繊維輸出組合、日本繊維輸入組合 合同懇親会（パーティ）

1. 開催日時 同 上 午後5時30分～7時
2. 開催場所 大阪 輸出繊維会館・中地下（BM）会議室

「繊維の基礎知識」研修会(大阪・名古屋地区)の開催案内(輸出入組合)

日本繊維輸出組合、日本繊維輸入組合および社団法人テキスタイル倶楽部は、組合員・会員各位の若手社員・新入社員に対する教育補完の一環として、以下により「繊維の基礎知識」研修会を開催することとなりましたので、お知らせ致します。

本研修会は、初心者向けのものでありますので、新入社員及び若手社員の方には奮ってご参加頂きたく、受講御希望の向きは、後日、各組合より開催案内を送付いたしますので、同封の受講申込書により、以下の連絡先にお申し込み下さい。

1. 日 時：平成 19 年 7 月 5 日(木)、6 日(金) 午後 1 時～4 時
2. 場 所：輸出繊維会館中地階(ＢＭ)ホール(大阪市中央区備後町 3 丁目 4 - 9)
3. 受講料：無料(繊維輸出組合、繊維輸入組合及びテキスタイル倶楽部の組合員・会員に限る)
4. 講師派遣：日本化学繊維検査協会(カケン)
5. 連絡先

日本繊維輸出組合	TEL：06-6201-1812	FAX：06-6201-1819
日本繊維輸入組合	TEL：06-6202-5575	FAX：06-6202-5585
(社)テキスタイル倶楽部	TEL：06-6203-4120	FAX：06-6203-4119

「貿易実務の基礎」研修会(東京・名古屋・大阪地区)の開催案内(輸入組合)

日本繊維輸入組合は(大阪地区のみ社団法人テキスタイル倶楽部と共催)、組合員各位の中堅および若手社員並びに新入社員に対する教育補完の一環として、以下により東京・名古屋・大阪地区で「貿易実務の基礎」研修会を開催することとなりましたので、お知らせ致します。

受講御希望の向きは、後日、輸入組合より開催案内を送付いたしますので、同封の受講申込書により、以下の連絡先にお申し込み下さい。

1. 日時と会場：

東京地区	2007年7月2日(月) 10:00 ~ 16:00
	於/東京ファッションセンター(TFTビル)会議室
名古屋地区	2007年7月3日(火) 10:00 ~ 16:00
	於/名古屋商工会議所 3階 第3会議室
大阪地区	2007年7月4日(水) 10:00 ~ 16:00
	於/輸出繊維会館中地階(ＢＭ)ホール
3. 受講料：無料(繊維輸入組合及びテキスタイル倶楽部の組合員・会員に限る)
4. 講師：ジェトロ認定貿易アドバイザー 大谷 巖 氏
5. 連絡先

日本繊維輸入組合	TEL：06-6201-1812	FAX：06-6201-1819
(社)テキスタイル倶楽部	TEL：06-6203-4120	FAX：06-6203-4119

お知らせ

- 2007年6月の輸入通関手続相談窓口開設日 -

2007年6月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫8手続等々通関業務諸問題について
ご相談の向きはご連絡下さいませようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2007年6月13日(水)及び6月27日(水)
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後1時より午後5時まで
4. アドバイザー 片山 喬次
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03(3270)0791

Fax 番号 03(3243)1088

E Mail 0023@jtia.or.jp (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以上

組合員情報

組合員の脱会

(輸出) 尾崎織マーク(株) (平成19年4月26日付)